

変わりゆく東部の街並み

着々と進む和田線と完成した社宅



平成23年から始まった県道松本和田線の工事。約10年が経過し、着々と進められています。

また、女鳥羽川沿いには八十二銀行清水アパートが建設され、以前とは一変した街並みになりました。(写真:R4.3.1撮影)



▲桜橋東交差点から見た和田線工事の様子



▲清水西町会に建設された八十二銀行清水アパート

町会連合会主催の「交通安全と防災」講座が、各町内公民館を会場に8回に渡り開催されました。特に交通安全協会(東町支部)による丁寧な説明で、参加者からは「改めて交通安全に注意が必要だ」と話されていました。

再認識した 交通安全と防災

町内公民館で出前講座



▲5/28(金) 清水東町内公民館

来年度も実施
R4年度もこの「交通安全と防災」講座は、危険マップと事故事例、避難所開設等について開催を予定しています。



▲6/25(金) 清水中町内公民館



▲7/16(金) 清水西町内公民館



▲9/24(金) 餌差町内公民館



▲10/8(金) 桜町町内公民館



▲10/29(金) 三町会合同公民館



▲11/19(金) 下横田町内公民館



▲12/17(金) 葭町町内公民館



なんだか若返ったみたい

福祉ひろば「早春コンサート」



3 月 14 日 (月) に、福祉ひろば主催の早春コンサートが 60 名を超える参加をいただき開催されました。

演奏者は中山公民館長が

率いる「お達者倶楽部」。迫力ある演奏は勿論、リクエストに応えた即興など参加者に添った生演奏に喜び爆発でした。

参加した永田利行さん (餌差町) は「楽しく、笑いもある演奏会でした。また、音楽っていいな、なんだか若返ったみたい。」と話されていました。

▶ スカーフを染料につける作業



藍絞り染め

「藍絞り染め講座」が、染色家の松本恵美子さんを講師に 2 月 2 日 (水) に 9 名の参加をいただき、開催されました。

参加した乾美知子さん (下横田) は、「染め上がりに正解はないと聞いたのでそれも魅力ですね。」と話されていました。

▶ 講師を見本に動く参加者



健康太極拳

体育協会主催のニュースポーツ講座「健康太極拳」が、2 月 15 日 (火) に 15 名の参加をいただき開催されました。

参加した森慶子さん (清水中) は「久しぶりにやりました。これを機にサークルで続けてみたいと思います。」と話されていました。

「仲間」は心の栄養

各講座でつながる

▶ みんなでストレッチ実践



子育て支援

子育て支援「元気なお母さんでいるために」が、2 月 7 日 (月) に 4 名と子ども 4 名の参加をいただき開催されました。

講師の理学療法士宮澤未穂さんは「東部地区の皆さんがお子さんを見てくれたので、じっくりお話を聞いてもらえてよかったです。」と話されていました。

▶ 真剣に耳を傾ける参加者



お薬講座

お薬講座「薬のみすぎでませんか？」が、1 月 19 日 (水) に大手コトブキ薬局薬剤師の小笠原博之さんを講師に 14 名の参加をいただき開催されました。

参加した新村昌弘さん (東町 2) は「お医者さんは忙しく相談したくてもできないのが悩みです。」と話されていました。

▶ 写真と共に文化財を解説



歴史講座

歴史講座「松本のたから～東部地区の文化財～」が、1 月 13 日 (木) に 14 名の参加をいただき、開催されました。

参加した森川加代子さん (東町 1) は、「東部地区の文化財は地域の方のご尽力で受け継がれていることがわかりました。」と話されていました。

子ども達との出会いが宝物

我がまち自慢 餌差町町会 斎藤 鐘子さん

● きっかけは 知人から「2 回の活動だから補導委員をやらなさい」と声を掛けられたのがきっかけです。模型店を経営していることもあり、元々地域の子ども達との関わりはありましたが、月 2 回ならお店をやついてもできるかなと思いついて、気がついて 20 年間やってきました。

子ども達が非行に走らないよう、温かい声かけ活動を行っている松本市青少年育成センター補導委員。その委員を 20 年務められた餌差町の斎藤鐘子さん (72) に補導委員についてお聞きしました。

「松本市青少年育成センター補導委員」とは、繁華街、駅、公園、ゲームセンターやカラオケ店など、その他非行が行われやすい場所を重点的に巡回し、見回り・声かけを行う街頭補導活動や、子ども育成会と合同で、コンビニ、図書、酒類販売店約 280 店舗を巡回し、青少年に有害な地域環境の実態調査などを主に行い、子ども達が非行に走らなくなるような活動をしています。

顔見知りになった子とは今でもあいさつを交わすと嬉しそうに話す斎藤さん。当時の出会いを大切に、引き続き子ども達を見守っています。

時代と共に子ども達の遊び方も変わって、公園で会話をせずに黙々とゲームをする子ども達を見て、驚きや寂しさを感じることもありましたが、でも、あいさつをすれば返してくれる、その温かさはいつの時代も変わらなくて嬉しく思うと同時に、やりがいでした。顔見知りになると子ども達からあいさつをしてくれることもありました。四季を感じながら歩くのも楽しかったです。

● 印象的なことは

月 2 回の街頭補導活動では 1 回 2 時間程度南松本駅周辺や松本駅周辺、公園などを巡回しました。



▲ 表彰式での記念写真 (R3.11.1)

第 64 回まつもと市民祭
功労者表彰受章